

指導計画

【情報モラルに関わる年間指導計画（第6学年）】

教科等	内容項目等	教材名	ねらい	
インターネットに潜む危険（自分を守るために）	道徳	A 善悪の判断、自律、自由と責任	「ほんとうのことだけど」	自由には、自分を律する気持ちが大切であることを理解し、相手の気持ちも考えながら責任ある行動をしようとする態度を育てる。
	道徳	A 節度、節制	「カスミと携帯電話」	携帯電話のけじめのない使い方によって生活リズムが狂ってしまうことを知り、自分の生活習慣を見つめ直し、節度を守って生活しようとする態度を養う。
	総合	情報モラル（ネット上で知り合った人との約束は危険）	「えっ、こんな人だったの」	インターネット上で仲良くなったからといって、会う約束をしたり個人情報を教えたりしてはいけないことが分かる。
	総合	情報モラル（個人情報を奪うWebサイトを見抜く）	「甘い言葉にご用心」	Webサイト上にあるアンケートの中には、個人情報を奪う目的のものがあることを知り、自分の個人情報を自分で守れるようにする。
	総合	情報モラル（セキュリティソフト）	「ウイルスなんて関係ないと思っていたのに…」	コンピュータの安全性を高めるために、セキュリティソフトを導入し、それを常に最新の状態に保っておかないといけないことが分かる。
	総合	情報モラル（ケータイのフィルタリング）	「あなたのケータイどう使いますか」	携帯のフィルタリングの必要性が分かる。

【道徳科における指導事例】

- ◆ 主 題 名 たいせつな生活リズム 【A 節度、節制】
- ◆ ね ら い 携帯電話のけじめのない使い方によって生活リズムが狂ってしまうことを知り、自分の生活習慣を見つめ直し、節度を守って生活しようとする態度を養う。
- ◆ 教 材 名 「カスミと携帯電話」（出典：『小学道徳 生きる力 6』（日本文教出版））
- ◆ 学習指導過程

	学習活動	○主な発問 ・児童の心の動き	※留意点
導入	1 通信機器の使用に関するアンケート結果について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> * 「アンケート結果を見て思ったことを発表しましょう。」 ・ほとんどの人が通信機器を使っている。 	※児童の興味を喚起するためにアンケート結果を提示し、本時の主題につなげる。
展開	2 教材「カスミと携帯電話」を読んで話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「レイナとのメッセージのやり取りで夜更かしをしているとき、カスミはどのような気持ちだったでしょう。」 <ul style="list-style-type: none"> ・早くメッセージが見たい。 ・たくさんやりとりができてうれしいな。 ・「やめよう」って言いにくいな。 ・体はだるいのもだんだん慣れるだろう。 ○ 「重い足取りで帰るレイナの姿を、加はどんな気持ちで見送っていたでしょう。」 <ul style="list-style-type: none"> ・大丈夫かな。 ・夜更かしがしがいけなかったのかな。 ・私が「やめよう」って言ってあげば。 ◎ 「カスミはどんな考えから、お母さんに携帯電話を返したのでしょうか。」 <ul style="list-style-type: none"> ・このままだといつか倒れてしまう。 ・まだ自分では携帯電話を上手に使えない。 ・お母さんの言う通り、自分にはまだ早かった。 ○ 「毎日同じリズムで生活するためには、どんなことに気をつければよいでしょう。」 	<ul style="list-style-type: none"> ※携帯電話でのやりとりに夢中になっている「カスミ」の行動から、なぜそうなってしまうのかについても考えさせる。 ※レイナの「携帯電話が悪いんだ」という言葉を掲示し、本当に携帯電話が悪いのかをグループで話し合わせる。 ※「道徳ノート」に考えを書かせる。 ※書いたことをペアで交流し、その後全体で話し合わせる。 ※生活リズムを守るためには節度を守って生活することの大切さに気付かせる。
終末	3 自分たちの生活を振り返る。		
	4 「情報モラルの達人チェックシート」で情報全般に関わっての振り返りをする。	* 『「情報モラルの達人チェックシート」で情報の扱い方を確かめましょう。』	※ 「情報モラルの達人チェックシート」で情報の扱い方を振り返りながら、情報モラルについて大切なことも確認する。